



【取組内容】

- 明治44年の済生勅語「施薬救療の精神」を体現すべく、1. **生活困窮者への援助の積極的促進**、2. **地域医療への貢献**、3. **総合的な医療・福祉サービスの提供**を果たすべき使命の3本柱として、医療・福祉が届きにくい人々への支援を、1世紀以上にわたり展開。
- 生活困窮者支援「なでしこプラン」では、ホームレスの健診、子どもの貧困、刑務所出所者の地域生活への対応や障害者の就労促進等、**11年間にわたり問題を抱える生活困窮者等累計約156万人に対する支援を実施**。
- **計1,641項目におよぶ「済生会ソーシャルインクルージョン推進計画」をとりまとめ**、閉じこもる高齢者、健康無関心層、買い物難民、がん患者の就労支援等、既存の医療・福祉の枠を超え、**差別や分断の無い社会の実現を目指す**。

【評価ポイント】

- 医療・介護・福祉の枠を超え、すべての人の暮らしを支える「誰一人取り残さない」まちづくりを実践。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性	医療・介護・福祉事業に加え、まちづくりに寄与する事業を拡大しており、新たな社会福祉法人の形として見本になり得る。
包摂性	多様で複雑な問題を抱える生活困窮者を含むすべての人と、差別や分断無く共に生きていく社会の実現を目指し事業を推進。
参画型	自治体や教育機関、NPO、医師会、刑務所、企業等、まちづくりを担う様々な関係者と共にソーシャルインクルージョンを推進。
統合性	異なる地域課題に対し、医療・福祉分野に限らず地域の多様な企業等とも連携し、地域の力を結集して統合的に取り組む。
透明性と説明責任	中期事業計画と関連づけた冊子や機関誌、ホームページ（知る・見つける・支えるソーシャルインクルージョン）等で各種情報を公開。

